

未来の創り手に求められる資質・能力を育成する授業に関する研究Ⅱ

－学びの価値を見いだす授業デザイン－

～第3学年「店ではたらく人」の実践を通して～

鹿児島市立坂元小学校
教諭 野山 大輔

1 研究実践の目的

本実践は、未来の創り手に求められる資質・能力を育成するために、児童が学びの価値を見だし、主体的な学習を行える授業づくりを目的として行うものである。

第3学年は、初めて社会科を学ぶ学年である。そこで、学びに向かう力の涵養を図るために、まずは児童が興味・関心をもって臨む授業づくりが必須であると考えた。また、社会科における学びの価値を実感させるためには、学習したことと自分の社会生活がつながることが大切である。

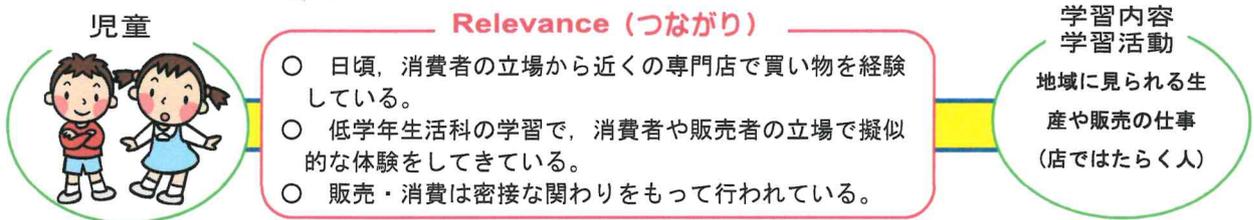
これらのことから、児童の生活により密接した教材を扱うことで、学習効果が上がると考えた。そこで、地域素材の教材化を図り、四つの視点を踏まえて授業デザインを作成し授業実践を行った。

2 研究の実践（第3学年『店ではたらく人』）

(1) 授業で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解することができる。	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することができる。	販売の仕事について、主体的に学習課題を解決しようとすることができる。 消費者の立場から、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。

(2) 授業デザインに当たって



必要性	過程	主な学習過程の例	関係性
<p>前時で学習したスーパーマーケットの工夫を想起し、身近な専門店では、どのような工夫が見られるか調べてみたくなる手立てや、これまでの生活経験を基に、自分の課題について追究させる。</p>	課題把握	<p>動機付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習課題を設定する。 どうすべきか なぜ どのように 何を 誰が どこで いつ <p>方向付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ●課題解決の見通しをもつ。 	<p>既習事項であるスーパーマーケットの工夫と、身近な専門店の工夫を比較したり、販売側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けたりして考えさせる。</p>
	課題追究	<p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予想や仮説の検証に向けて調べる。 <p>考察・構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する。 ●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する。 	
自律性	課題解決	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●考察したことや構想したことをまとめる。 	
<p>本時の課題について、解決するための方法や必要な資料について話し合い、解決の見通しをもって、自ら課題解決に取り組ませる。</p>	新たな課題	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習を振り返って考察する。 	

(3) 授業の実際 □ 教師の手立て [] 児童の反応

過程	主な学習活動	教師の手立て
課題把握	<p>1 前時までの学習を想起し、本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーマーケットには、たくさんの工夫があったね。他のお店でも、そういう工夫があるのかな。 </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>スーパーマーケットのようなくふうが、ほかの店でもあるのだろうか。</p> </div>	<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットとの比較対象として地元の専門店を扱うことで、児童の「調べたい」という意欲を喚起する。
	<p>2 スーパーマーケットの販売の工夫を振り返り、本時の調べる視点を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーマーケットの工夫と比べれば、他のお店の工夫も見付きそう。 ・ スーパーマーケットには、お客さんがお店に来なくなる工夫や、安心して買うことができる工夫があったね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットの販売の工夫をまとめたカードを掲示しておき、振り返らせる。 <p>自律性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットについて、どのような工夫を見つけたか想起させることで、比較する視点を確認させる。
課題追究	<p>3 課題について各自で調べる。</p> <p><資料> VTR・写真・パン屋さんの話をまとめた資料</p> <p>(1) 全員でVTRを視聴し、工夫を見付ける。</p> <p>(2) 写真や話をまとめた資料から、工夫を見付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工夫がうまく見付けられない児童については、個別に声を掛け、工場やスーパーマーケットの工夫を想起させることで、工夫を見付けさせる。
	<p>4 調べたことについて、グループで話し合ったり、全体で話し合ったりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンの並べ方を工夫しているね。 ・ 材料は国産の物を使っているんだね。 ・ 工場働く人と同じ服装をしているよ。 ・ お客さんが「安心・安全」に買い物ができるようにしているよ。 ・ 機械を使ってたくさん作っているね。これは、工場と一緒に。 </div>	<p>関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料から分かるパン屋の工夫と、スーパーマーケットの工夫を比較しながら考えさせる。 ○ 自分の考えと友達の考えを関係付け、考えを広げ、深めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことを伝え合うだけでなく、見つけた工夫は、なぜそのような工夫を行っているのか話し合わせる。
課題解決	<p>5 本時の学習についてまとめる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>ほかの店でも、お客さんに安心して来てもらい、商品をたくさん売るために、いろいろなくふうをしている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見つけた工夫を整理しながら、スーパーマーケットと同じような工夫があることにも気付かせる。また、地域の専門店独自の工夫から、消費者の多様な願いを踏まえて行っていることに気付かせる。
新たな課題	<p>6 本時の学習について振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近所のパン屋でも、たくさんの工夫をしていることが分かった。 ・ これまでお店に行っても気付かなかったけれど、こんな工夫をしていたんだ。 ・ お店に行って、見てみたい。 ・ 他のお店の工夫も調べてみたい。 </div>	<p>有用性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消費者の立場から、販売の工夫が分かり、買い物をするときの視野を広げられるようにする。 ○ 地元の商店の工夫を知ることで、地元で販売の仕事に携わる人たちへの理解を深められるようにする。